しらさぎ

目黒区立第八中学校
学校だより　NO.16
（通巻３６号）
平成２５年（2013）
１２月２日（月）

『ふれあい月間（いじめ防止強化月間）』取組報告

校長　飯野　博史

クリスマスのイルミネーションに、年の瀬の慌ただしさを感じる時期となりました。今日から三者面談が始まります。短い時間ですが、生活・学習面について有意義な話し合いができればと考えています。ご協力、よろしくお願いいたします。

本校では１１月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と位置付け、様々な取組をしてきました。

■いじめアンケート　11/6

昨年度のアンケートでは「いじめやからかいがありますか」という問いに約12%が「はい」と答えました。今回の調査では約５%となりました。数字の上からはいじめ件数は減っていることが分かりました。

■人権標語

全校で「人権標語」を作りました。優秀標語を選出し、区人権啓発標語作品展に出品します。

「命と人権を考える週間」

■２年生「命の授業（誕生学）」　11/25

前半はスライドで命の誕生、成長、出産などについて話をうかがい、命の神秘について学びました。後半は８組の母子が登場、８班に分かれて赤ちゃんをだっこしました。生徒たちの顔は笑顔いっぱいでした。赤ちゃんを通して、命の大切さを実感しました。

■１年生「人権講演会」　11/27

目黒区人権擁護委員を講師にお招きして人権についてお話をうかがいました。中学生の人権作文をもとに、いじめ、原発事故による風評被害、病気に対する偏見など様々な事例があげられました。人権について考えるきっかけとなりました。

■３年生「人権教室」　11/29

校長が「横田めぐみさんの拉致問題」と家族愛について話をしました。アニメ「めぐみ」を見て、拉致問題への理解を深めました。

１２月の人権週間に向けて、各学級で「いじめ防止スローガン」をつくり発表します。様々な取組のまとめとして１２月１８日に「人権特別講演会」を開催します。詳しくは裏面をご覧ください。

それぞれの取組成果について、学校だよりや学年だよりで報告していきます。

命の授業

人権講演会

人権教室

◎生徒の活躍

・平成25年度目黒区税についての作文・標語　（主催：目黒区納税貯蓄組合連合会）

《作文の部》　　12/2　目黒区総合庁舎において表彰式

区長賞　　３年女子　『未来のために』

《標語の部》

目黒区納税貯蓄組合連合会優秀賞　　３年女子

「納税は　個人でできる　国の手伝い」

・一茶まつり全国小中学生俳句大会　　（主催：炎天寺一茶まつり委員会）

秀逸　３年女子　　「トマト採り祖母に誘われカゴを持つ」

入選　３年男子　　「何となく虚無を感じた夏休み」

〃　　３年女子　　「将来を語りて過ごす夏の夜」

・目黒区中学校バスケットボール新人大会　　11/3

兼 第52回目黒区体育祭秋季バスケットボール大会

第３位　男子バスケットボール部

◎人権特別講演会　　～希望と勇気、元気をもらおう～

冬季パラリンピック金メダリスト

大日方（おびなた） 邦子氏　　演題『壁なんて破れる』

日　時　１２月１８日（水）１３時３０分開始

場　所　本校体育館

《大日方邦子さん プロフィール》

・東京都出身のチェアスキーヤー

・３歳のとき交通事故により右足を切断、左足にも重度の障害を負う。

・小中学生時代は水泳に力を入れていたが、高校２年のときにチェアスキーを始める。

・冬季パラリンピックにリレハンメル（1994）からバンクーバー（2010）まで５大会連続出場し、アルペンスキー競技で合計１０個のメダル（金２個、銀３個、銅５個）を獲得。

・冬季パラリンピックにおける日本人初の金メダリスト（1998年長野大会、滑降）

・ＮＨＫ教育番組ディレクターを経て、現在は電通パブリックリレーションズ勤務。

・2010年現役引退の後、若手選手の育成に努める。

・日本パラリンピック委員会運営委員、日本パラリンピアンズ協会副会長、厚生労働省社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員

・著書に『壁なんて破れる－パラリンピック金メダリストの挑戦』（2006年、日本放送協会）がある。

※ 地域・保護者の皆様もぜひお出でください。途中からの入場はお断りすることもありますので、開始時刻までにお集まりください。

今回の講演会については、本「学校だより」をもって御案内とさせていただきます。

◎今月の主な行事

２日（月）全校朝礼、三者面談始
５日（木）避難訓練
６日（金）三者面談終
９日（月）学年朝礼
10日（火）学校公開日
12日（木）専門委員会
13日（金）中央委員会
16日（月）生徒会朝礼
18日（水）人権特別講演会
24日（火）美化デー
25日（水）冬休み前集会
26日（木）冬休み始